2023 年度 独創的研究助成費 実績報告書

			2	024年 3月 27日	
報告者	学科名 栄養学科	職名准	数授 氏名	首藤恵泉	
研究課題	大豆イソフラボンと多剤併用療法による新しい癌栄養療法への応用				
研究組織	氏 名	所属・職	専門分野	役割分担	
	代表首藤恵泉	栄養学科・准教授	臨床栄養学	研究の統括及び研究全般	
	分 担 者				
研究実績の概要					

スタ・ 万に続く		
研究実績 の概要	して、20mMのシクロホスファミド、500nMのドキソルビシン及び100nMのパクリタキセルとゲニステインの同時添加で有意なスフェア内部の死細胞の増加が確認できた。また、スフェロイド面積においても有意な収縮が確認できた。本研究では、抗癌剤単独での添加とゲニステインとの同時添加において有意な癌幹細胞の抑制効果を見出すことができなかったが、相乗効果に期待できる結果を得ることができた。これは、抗癌剤の副作用による患者の負担を軽減することにより、新しい癌治療への貢献を期待できると考える。	Foldchange of control in Paditaxel
	Foldchange of control in Doxordbicin of the party defined of the party	Foldchange of control in Cyclophosphamide of cyclophosphami
成果資料目録		